

玄武岩の玄さんが堅いテーマも柔らかく解説

豊岡のここに注目じや！

竹野地域に人が集う！



く見るのは、なんだろう？
それは「竹野・川湊再生プロジェクト」のイベントかもしれない。

トかもしれない。それは「竹野・川湊再生プロジェクト」のイベントかもしれない。

をすることが難しいみたいだで。

ええ!? 大変じゃない。
なんとかしなきゃ。

プロジェクト？ それってなあに？
竹野地域は、人口減少と少子高齢化により、地域の活力が次第に無くなってしまふみたいじや。また、竹野地域に来なる人たちの約7割が夏に集中しつつ、1年を通じて生計を立てる仕事

だで、竹野・川湊再生プロジェクトを立ち上げたんじや。竹野の成り立ちを今までみ続けたい町であり続けること」を目指して、「竹野が行つてみたい、住んでみたい、住み続けたい町では運営協議会などを構成する運営協議会を2018年4月に発足させたんじや。

ト」や「たけの町並みウォーキング」などがあるんじや。

買えたり、おいしい屋台のあ
るマーケット。楽しそう。

夏だけではなく、住民や来訪者が集う場をより多く作り出すことを目指しとるんじや。そして、今はまだ大きな収益は見込めんが、将来的には生活の糧とする生業を創ることを目指してるんじや。竹野に行つてみたい、住んでみたい、住み続けたいと感じる人をがつせい増やすんじや。

みんなで考えなんだね。
実際にはどんなことをしているの？

協議会では、定例会を毎月1回開催して、情報の共有と施策の検討を行うと共に、六つのワーキンググループを設けて活動しとんなるで。具体的には、毎月1回開催しとる「竹野・川湊再生プロジェクト」には、毎月1回開催して、情報の共有と施策の検討を行ふと共に、六つのワーキンググループを設けて活動しとんなるで。



▲たけの町並みウォーク

次の海町マーケット、行ってみよつと。私もいっぱい食べて協力するね。



▲竹野港海町マーケット